

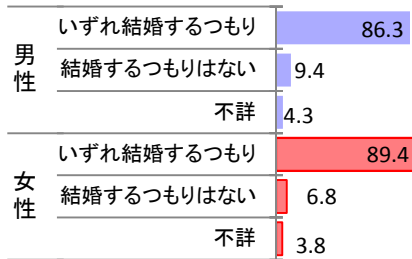
次世代を担う「人づくり」に向けた少子化対策の抜本強化

〔論点〕

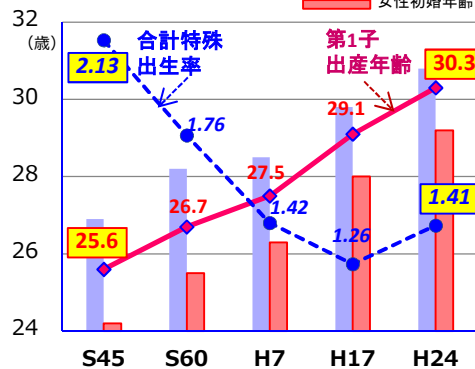
将来の若者に耐え難い負担をもたらす国家的危機を回避するには、今がラストチャンス。直ちに対策の抜本強化を!!

◆少子化の現状

① 未婚者の結婚への意欲 (%)



② 合計特殊出生率と第1子出産年齢、初婚年齢



◆対策の抜本強化に向けた「3本の柱」

- I 出生率を高めるための施策
- II 地方で家庭を築く若者の増加策
- III 世代間の支え合いの仕組み

I 出生率 × II 若者の人口
III 世代間の支え合い



結婚を希望するより多くの人々が望みを叶え、希望する時期に安心して出産・子育てできる社会づくりが不可欠!

◆抜本強化に向けたトータルプラン

政策集

I 出生率を高めるための施策

ライフステージに応じて、地域の実情に合った施策を強力に展開すべき!

- 非正規雇用の処遇改善
- 長時間労働の解消
- 総合的な結婚支援
- 保育・教育費の負担軽減
- 仕事と育児が両立できる環境の整備

地域少子化対策強化交付金の拡充と恒久化!

など

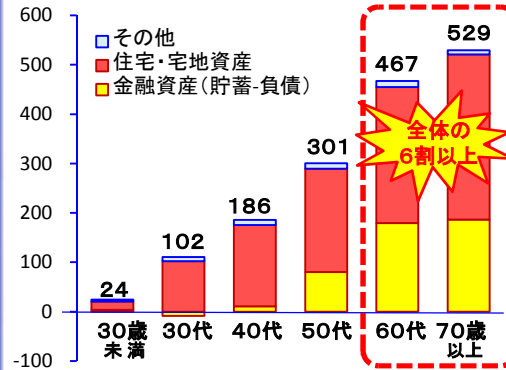
II 地方で家庭を築く若者を増加させる施策

- 地域の雇用創出・活性化
- 若者の移住促進

など

III 世代間の支え合いの仕組み

世帯主の世代別資産総額 (兆円)



- 高齢者や企業等による子育て支援
- 高齢者から子・孫の世代への資産移転の促進

～新たな税財政制度の創設～

など

理想の子どもの数3人が、予定では2人に止まる理由
第1位：子育て・教育にお金がかかり過ぎる【71.1%】